



## 第2回 立志ノート活用コンテスト結果

第1回に続き、立志ノートの良い取組を紹介し、今後の活用の促進を図ることをねらいとして、学習委員会主催第2回立志ノート活用コンテストを行いました。

前回よりも自分なりの工夫をしている生徒が増えている一方で、全く活用ができていない生徒もいる現状もあります。そこで、今回は、受賞者の皆さんに活用方法についてのアドバイスをいただきました。

特に、7月に行われたアンケートで、「立志ノートの課題と感ずる点をあげてください(複数回答)」に、「書く時間がない」「書き込む欄が多い」という生徒が多かったので、その課題についての受賞者の現状をふまえて、活用できる方法を2つ提案しています。1学期よりもステップアップを目指して、自分の最適な学び方を立志ノートで見つけていきましょう。

立志ノート活用コンテスト受賞者

	1年	2年	3年
金賞	青池瑠璃花	中村笑子	知名優美花
銀賞	新垣夏鈴	山城希星	平良海咲
銅賞	又吉絢香	仲村有未	石垣美結

### 立志ノートの課題

**書く時間がない**

357名 64.9%

全校生徒アンケートより  
550名回答(7月実施)

**書き込む欄が多い**

280名 50.9%

受賞者アンケートより

Q: 1日に記入する時間は、何分?

A: 5分～10分

平日5分程度、土日10分程度

Q: どんな時間を活用して記入?

A: 朝の会の前の時間・登校後すぐ  
勉強が終わったあとの5分ぐらい  
昼休み・すきま時間・寝る前

提案: 1日のうちの5分  
どこで時間をとるか決めよう!

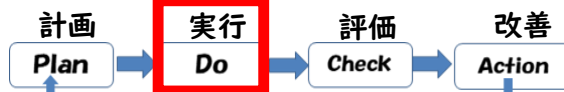
受賞者アドバイスより

・振り返りはわかったことを簡潔に書くようなつもりで書いたらいいと思います。  
・勉強していない日は、日記みたいなことを書いても◎

・勉強だけでなく、部活のことなども書いてもいいのではないのでしょうか。

・自分の“やった”という記録が残せること。  
1週間を通して自分を振り返ることができる。

提案: 基本は、学習して記録を残す!



※学習して自分の学習の仕方を見直し、今後の計画を立てよう。  
Do→Check→Action→Planの順番でもOK!

### 2学期の理想の姿

受賞者アンケートより

・自分がどれだけ勉強したかがわかるので、自分がどこは沢山勉強しているか、していないか判断できるから学力の向上につながる。→自分自身、単元テストの点数で9割取ることが多くなった。

2学期は、1日5分、立志ノートの取組で、学力向上につながる工夫をしてみましょう。

第3回立志ノート活用コンテストは、学級のステップアップ賞と個人の立志ノートアドバイザー認定を行う予定です。(2学期の立志ノート配付予定)